

「自然と共生し、温もりのあるまち山川」

～ふれあいと創る喜びがあるまちづくり～

久留米市山川校区地域づくり振興会【コミュニティセンター】

生涯学習部長 弥 永 嘉 弘

※ 山川校区の概要

校区は、耳納(水縄)山地の高良山麓から筑後川左岸に位置した山と川に囲まれた自然豊かな校区である。また、昔から交通の要地として知られており、「神代渡し」は 11 世紀中ごろ、筑後の国府から太宰府へ通じる官道の筑後川渡河地として重要であった。

鎌倉時代の元寇の時、ここに地元の豪族神代良忠が、川船を集めて「浮橋」をかけ、筑後・肥後・薩摩・日向の大軍を無事通すことに成功したので、鎌倉幕府から表彰を受けている。時代不明であるが、史跡神代「浮橋之碑」が建てられている。江戸時代には参勤交代道路の「渡し」としても重要であった。

「追分」は豊後街道山辺道と中道とに分かれる重要な位置にあつて、茶店なども置かれ、旅人の休息場所でもあった。明治 32 年 1 月には、夏目漱石がここで休息した。ここには「親方と呼びかけられし毛布哉(けつとかな)」という夏目漱石句碑が校区観光開発委員会によって建てられている。

昭和 24 年に山川村公民館がいち早く小学校に並置された。昭和 26 年に久留米市に合併し、「久留米市立山川公民館」となったが、昭和 42 年久留米市の社会教育施設体系の再編成により、自主公民館となり、「山川校区公民館」と改称した。平成 18 年から「山川校区コミュニティセンター」に変更された。

現在、校区は 12 の自治会からなっており、9 つの小地域公民館を拠点にして、それぞれに地域活動や自治会活動が行われている。

1 事業名 第 18 回 山川「文化・古里まつり」 平成 26 年 10 月 26 日実施(雨天決行)

2 目的

- (1) 芸能・小学校児童の学習発表・展示・ふるさとフェア(出店)・親子体験コーナー等豊富なメニューを用意し、子どもから大人まで校区民全員参加を目指した一大文化イベントとする。
- (2) 学社融合事業を深化するため、小学校との連携を強化する。
- (3) 多くの校区民が参加することにより「古里のよさ」を実感し、併せて「地域文化の向上と創造」を図り、明るくて住みよいまちづくりに寄与する。
- (4) 校区民の親睦と融和を図る。

3 事業の実施主体 【山川文化・古里まつり実行委員会】(山川校区地域づくり振興会・山川小学校)

【会長】地域づくり振興会長 【副会長】振興会副会長・自治会長会会長・小学校校長

【実行委員長】生涯学習部長 【副実行委員長】振興会 5 部長・顧問・自治会長・小学校教頭
各種団体長・生涯学習副部長

4 連携・協力機関団体など

振興会各種団体・校区内商店や企業 久留米筑水高等学校・障がい者福祉施設太陽の園・校区内の幼稚園や保育園

抽選会協賛団体 8、個人 3、企業・商店・病院など 152

5 実施に至る経過

公民館事業として夏の「山川祭り」と秋の「総合文化祭」が実施されていたが、大人の参加が関係者中心で限られており、子どもの参加も少なかったため、住民代表などのアンケートの結果、この二つをまとめて、平成9年から秋に山川「文化・古里まつり」として、公民館が主催し、小学校にも参加を呼び掛けて「学社連携事業」として、実行委員会形式で、運動場に舞台を組んで実施することにした。小学校から4ブロックとクラブの演技や発表があった。この年は児童の70%が参加した。年ごとに児童の参加者が増え、平成10年86%、平成11年91%になったので、小学校と協議し、平成12年から、公民館と小学校合同主催の「学社融合事業」として開催することになった。運動場にトラックの荷台を舞台にして実施することになっていたが、雨天のためメイン会場を体育館へ変更した。

6 プログラム作成の視点

学校と地域が連携し、午前中を小学校の発表の場とし児童会が進行する。午後は地域や団体などからの演技などを生涯学習部所属の文化委員会が進行する。最後に全員参加の抽選会で盛り上げる。

7 事業の内容

小学校体育館のステージやフロアなど

《9時～9時15分》 開会式

《9時15分～11時45分》 小学校各学年（1年=かぞくにここにこ大きくせん

2年=TWO ストリーズ 3年=音楽物語「とべないホテル」 4年=大発見! 筑後川

5年=久留米の偉人「田中久重」 6年=最高の輝きを! 山川伝統「動乱蜂太鼓」)

クラブ(音楽=雨のち晴れるや・GUTS! 手話=花は咲く)の発表や演技

《13時～15時》 個人や子ども塾(習字・英会話・和太鼓=発表など) 白峰保育園=舞踊

純心幼稚園=遊戯 久留米筑水高校=和太鼓 団体(久留米ときめき隊=踊り

天使のドレミ=合奏など MJ山川ミニクラス=ダンス 橘劇団=舞踊)

小学校体育館の壁面 小学校各学年（1年=空想画「できたらいいな こんなこと」

2年=人権ポスター 3年=子ども達が描いた絵 4年=人権ポスター

5年=人権ポスター 6年=長崎新聞 平和学習のまとめ)

クラブ(パソコン=カレンダーやイラストづくり イラスト=私の好きなキャラクター

家庭科=ミシンや手縫いで作品づくり)の展示

小学校運動場 真中に食堂を設置し、まわりに出店を配置する。

《10時～15時》 出店 (小PTA・学童保育所・秋桜会・山川FC・仲よし女性の会・山川おふくろの里・山川リトルスカイヤーズ・子ども会・ローズ会・らくのうなどの10団体

《13時～15時》 親子体験コーナー(巣箱づくり・竹細工・ミサンガ・紙テープ細工)

《15時30分～15時40分》 閉会式

《15時40分～16時30分》 抽選会

コミュニティセンター大ホール・資料室・学習室など

《10時～15時》 子ども塾(習字・折り紙)と地域の団体(小花会・織物教室・ふれあいの会・パソコン教室・パッチワーク教室・フラワーアレンジメント教室)や個人などの作品展示
郷土研究会(装飾古墳などについて)と人権啓発推進協議会(人権ポスター)の展示
久留米筑水高校生の模擬庭園展示 高齢者福祉施設みのうさんぼみちの絵手紙展示

《13時～15時》 和室(茶道コーナー)で子ども塾茶道クラブによる茶の接待(有料100円)

8 事業の成果

- ◎学社融合事業としての取り組みで、小学校と地域の連携・つながりがより強くなった。
- ◎児童全員が発表や演技を行うので、父母などの参加があり、来場者が多くなった。
- ◎6年生全員が校区のシンボルハッピーを着て、山川校区の文化財である「花火、動乱蜂」をアレンジした動乱蜂太鼓の演奏は、大変勇壮で地域住民へ感動を与えている。そして、その始まりと終わりに「動乱蜂保存会」の代表によって花火が打ち上げられ、それに華を添えている
- ◎このまつりは、校区的全組織を挙げて取り組んでおり、前日準備・当日の運営片付け・翌日の片付け整理など、子ども会育成会や父母教師会の皆さんたちが積極的に関わっている。
- ◎校区内の団体などによる出店(10店)は、大変盛況であり、その団体の交流や親睦の場にもなっている。

9 今後の課題

- ◎演劇や発表の場が体育館ステージになったので、観客席が狭くなり、観覧者に不便を与えている。
- ◎体育館での演技などが、運動場にいる人などへ伝わりにくい。
- ◎コミュニティセンターには、地域や子ども塾の子どもたちの作品などを展示しているが、少し離れているのでそこまで足を延ばす人が少ない。
- ◎午後からの地域の部での出場者が年々少なくなってきた。
- ◎中学校との連携がうまくいっていない。

10 その他の特色ある活動

- ◎以前は青少年対策協議会主催で「親子で自然に親しむ会」としてハイキングを実施していたが、校区の山辺コースと川辺コースからなるウォーキングマップを作成し、平成12年から「校区ウォーキング大会」として実施することになった。山辺コースと川辺コース(7Kコース・4Kコース)を隔年ごとに実施している。小地域公民館(山辺コースで5カ所・川辺コースで4カ所)で休憩し、各自シールを貼る。一そこの自治会長が対応する。最後に小学校で、全員参加の抽選会とぜんざい会がある。
- ◎筑後川河川敷(サイクリング道路の活用)で、「校区つくし健康マラソン大会」と銘打って、平成11年から実施している。今年度(第17回)は、3,0km 1,5km 1,0km(ファミリーとゆったり)の距離を走るマラソン大会とする。最後に河川敷で全員参加の豚汁会がある。

11 問い合わせ先

〒839-0814 久留米市山川追分2丁目10番16号

山川校区コミュニティセンター 電話・Fax 0942-44-0465